

2022年 NO
8月10日号 6号



じんけんを「他人ごと」から「自分ごと」へ

OYAOYA 通信

学びのホームグラウンド じんけん楽習



2022年度のじんけん楽習塾が終わりました。今年度もコロナウイルス感染の影響で、会場での定員を20名に限定し、オンライン受講も選べられるように設定しました。基本は参加型学習ですが、講師の方も遠方からオンラインで参加してもらった回もあります。会場に来なくても参加できるのがオンラインの良いところだと感じています。

今年度のじんけん楽習塾、最終回の7月27日のテーマは『今、この時代にあらためて考えるーあなたは民主主義を信じますか?』。講師は長橋淳美さん（一般社団法人富田林市人権協会）でした。

みんなのふりかえり 6回目 7/27

今、この時代にあらためて考える
ーあなたは民主主義を信じますか？

長橋淳美さん

(一般社団法人富田林市人権協会)



●民主主義はまだ不完全だし不平等だと思っています。民主主義を正しく使うことは本当にむずかしいし、行使する方法ももっと学ぶ必要があるなあと思いました。



自分の意言をちゃんと信えることが民主主義への1歩かな。

●民主主義は、思想、主義ではなく、方法論なので、

・個人の自由、人権を尊重する、守る、・少数意見を尊重する、徹底して話す、を、具体的に実践しつづけることが大事、というか、それしかないように思います。

・ポピュリズムにしても戦争にしても、ポイントは、「個をふみつぶす」ことだと思うので、上記のことを徹底してやり続けることが、カウンターになるはず（国民が、戦闘に参加するのを拒否して逃散してしまえば、戦闘不能になるはず）

・なので、「信じる」という感覚はあまりしっくりこなくて、「実践する」だと思いました。実践あるのみ。(Tomoko)

●長橋さんのお話は、勉強になりました。基本的なことを知らないのでありがたかったです。

ただハテナがいっぱいあったのですが最後のぽんみさんの話でふにおちました。

●「“民主主義”を信じますか」とドキッとする問いかけでした。

あたり前をしっかりと考える。必要があるなと思いました。

多数に流れていく、情報がすぐに偏りがでてくる（どこどこが悪い、悪いものはたたけ）という様なことを最近のTVを見ながら思いました。

常に問いかけながら、少数意見、多様な考え方を受け（とり）入れることができるようで、いたいと思います。

●色々な立場の人とグループワークが出来楽しい研修でした。私も民主主義を信じたい。そしてこのすばらしい制度を発展させて次の世代につなげていく事が大切であると思いました。

●民主主義は、ゆるぎない社会の大原則と思いで、考える機会を今までもっていませんでした。ただ、前回のマジョリティ特権ともつながり、「多数派」「みんなが言ってる」ということのこわさを感じました。民主主義は、しぜんになされるものではなく、わたしたちの考え、行動によって、守られ、つくっていくものだと思います。

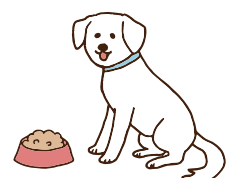
どの回もベンキョうになりました。ありがとうございました。

●周囲の友人たちがほとんど保守派ばかりの中で、反対意見を持つ自分が孤立している状況で、それが社会の縮図なのかなと感じています。何を保守したいのか、すべきなのか、対立する意見も冷静に聴いて、話し合った上

で、自分の考え方を伝える力が必要です。身近なマイノリティーの立場の人の取り残されがちな意見を聞いているので、そこから学んで、まずは自分を振り返ることから民主主義を考え直していきたいと思います。ぽんみさん、事務局のみなさん、たくさんの学びをありがとうございました。（立石）

●今年度もありがとうございました。

安倍氏の事件が「民主主義への冒涇」と一斉に報道されたことに驚き違和感がありました。今回は気になりながら言葉にしなかったことを話し合えてありがたかったです。民主主義について考え、日本は完全な民主主義国と聞いてさらに疑問は深まります。勉強不足だからとおすすめの情報を読み、わかりやすい内容になんとか安心し、やがて思考停止。こんな負のサイクルから抜け出すためにも、今回のような機会が必要だと感じました。地方自治についてのお話ももっとうかがいたかったです。



★来年度のじんけん楽習塾はプリズムホールで開催の予定です。